

事業の目的と概要

事業の目的

立川市は「第三次首都圏整備計画」において、自立都市圏の核となる業務核都市として、業務、文化、商業等の拠点としての都市機能の促進を図ることとされました。

また「第二次東京都長期計画」で多摩地域の「心」として商業、業務機能の集積を図ることとされました。

さらに「立川市新長期総合計画」に基づき、核都市形成のために、その中心部には商業、業務市街地の形成を図ることになりました。

本地区は、これらの計画を実現するための“要”となる地区であることから、駅前広場、道路、都市軸等幹線となる都市公共施設の整備、改善を周辺区域との整合性に配慮し、土地利用の増進とともに健全な商業市街地の造成を図ることを目的としています。

事業の概要

○事業の名称	立川都市計画事業立川駅北口駅前土地区画整理事業		
○施行者	立川市（法第3条第4項）		
○施行面積	約5.7ha		
○施行区域	立川市曙町1丁目、2丁目及び緑町の一部（換地処分時曙町2丁目に編入）		
○施行期間	平成2年1月26日から平成16年11月1日		
○減歩率	約34%（実質減歩率約11%）		
○建物要移転棟数	83棟		
○権利者数	109人		
	土地所有者	86人	（借家権者 117人）
	借地権者	23人	
○総事業費	61,867,000千円		

事業計画の決定

本事業は、昭和57年1月に立川市が、土地区画整理法及び都市再開発法の政令で定められた都市に指定され、その後の、昭和61年12月の「立川駅北口・跡地地区」都市基盤整備に係る都市計画（案）の地元説明会に至るまでの経過を受け、翌昭和62年の5月から11月にかけて「立川駅北口駅前土地区画整理事業」地区の地元説明会を開催しました。

続いて昭和63年2月に立川市は、事業に関わる都市計画原案を東京都に提出し、同計画（案）について同年4月7日から21日までの2週間にわたり縦覧を行いました。

そして翌年の、平成元年7月3日には事業区域の都市計画決定の告示がなされ、翌月の8月1日から14日までの2週間、事業計画の縦覧を行いました。

これらを経て、平成元年12月28日には本事業の設計概要の認可を受け、翌年の平成2年1月26日に、都知事により事業計画決定の公告がされました。

土地区画整理事業とは

（目的）

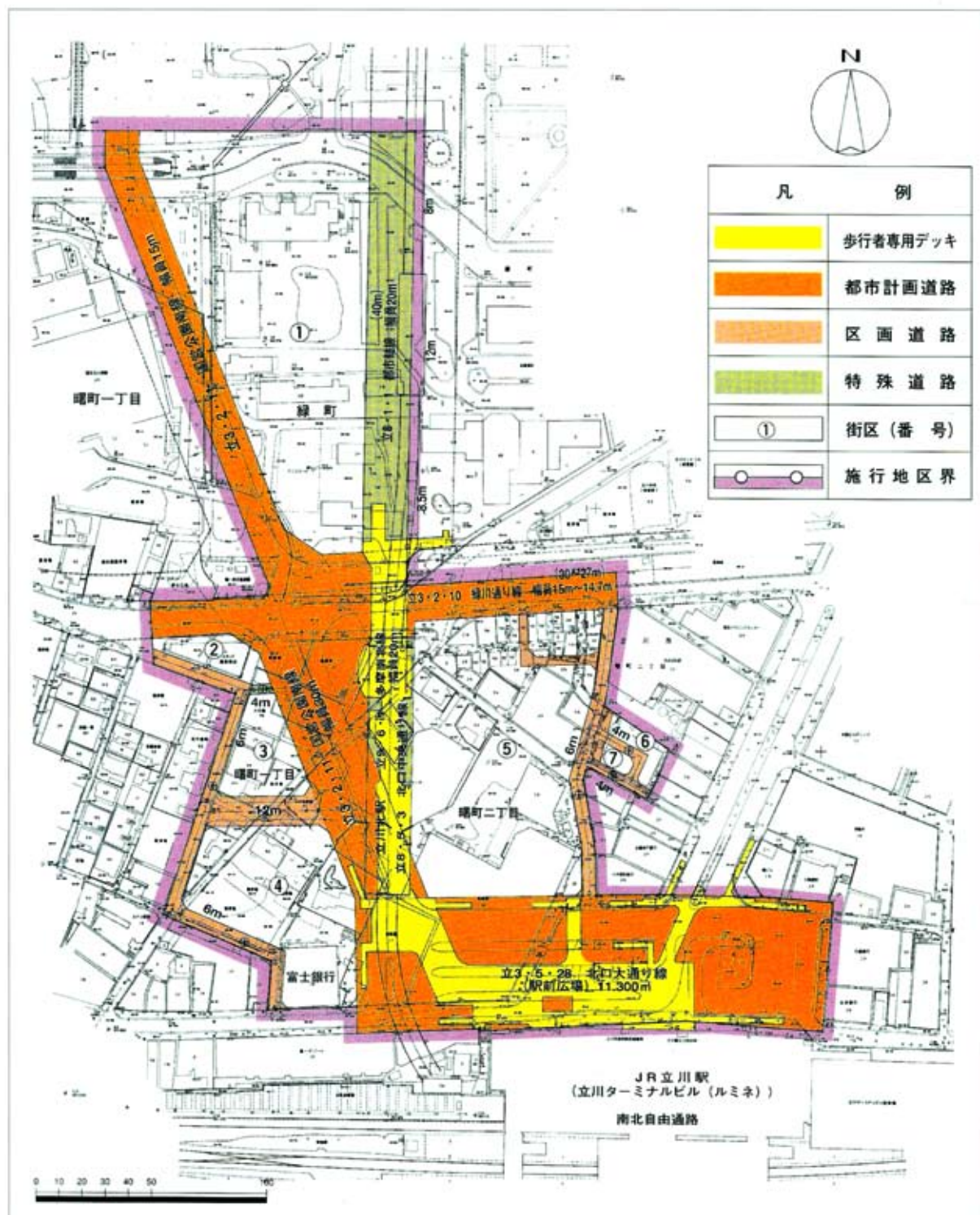
都市計画区域内の土地について道路、公園、河川等の公共施設を整備し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図ることにより、健全な市街地の形成と良好な宅地の供給に資することが土地区画整理事業の目的です（土地区画整理法に基づく事業）。

（事業手法）

公共施設用地の確保を一般の公共事業のような用地買収方式によらず、換地手法により確保する事業手法です。

■設計図

立川都市計画事業立川駅北口駅前土地区画整理事業設計図



事業の流れ

平成
元年度

- 都市計画の決定（告示）
- 『立川駅北口駅前土地区画整理事業』事業計画の決定（告示）

2
年度

- 減価補償金による用地取得

3
年度

- 『立川駅北口駅前土地区画整理事業』実施計画の承認
- 土地区画整理審議会設置・任命
- 土地区画整理評価員任命

4
年度5
年度

- 立川市有地（事業用地）の取得

6
年度

- 『立川駅北口駅前土地区画整理事業』の設計の概要第1回変更認可
- 仮換地の指定について土地区画整理審議会に諮問、答申を得る（全区域）

7
年度

- 移転説明会開催
- 建物移転開始

8
年度

- 公共施設整備（工事着手）
- 北口大通り線（駅前広場約 4400m² の嵩上部追加）の変更及び北口中央通り線（モノレール下約 2400m² の嵩上部追加）決定

立川市がめざすまちづくりの統一将来像（基本理念）

「心のかよう緑豊かな健康都市立川」の実現のため、次の5つの都市像の実現をめざして市民のみなさまとともに、まちづくりを進めていきます。

1. 健康でやさしさのあふれるまち
2. 環境を大切にしたい快適なまち
3. 生涯学習と文化を育てるまち
4. 安全でうおいと交流のあるまち
5. 活気にみちたふれあいのあるまち

9 年度	
10 年度	■多摩都市モノレール（立川北駅～上北台駅間）開業、モノレール立川北駅下デッキ使用開始
11 年度	
12 年度	■多摩都市モノレール全線開業
13 年度	■建物移転完了 ■北口駅前広場ペデストリアンデッキ全面使用開始
14 年度	■駅前広場及び幹線道路等の整備工事完了
15 年度	■事業計画の変更（告示）
16 年度	■換地計画の縦覧 ■換地処分の公告 ■清算金の徴収・交付 ■土地・建物の登記完了

市の木・市の花

ともに武蔵野に原生し、ケヤキは昔から市民と共存してきたゆかりの深い木であること、コブシは春に先駆け花を咲かせ、花も純白で可憐なことから昭和49年5月選定されました。